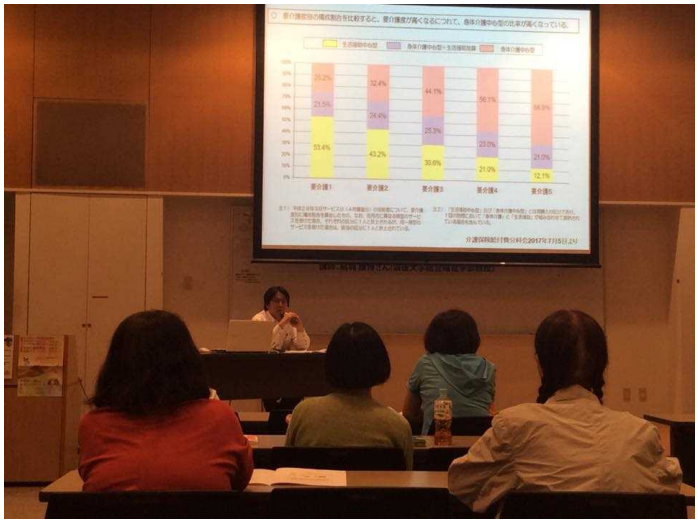
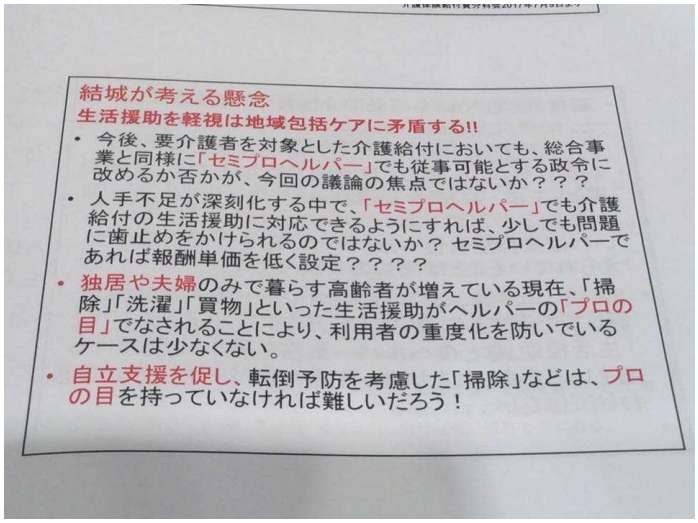
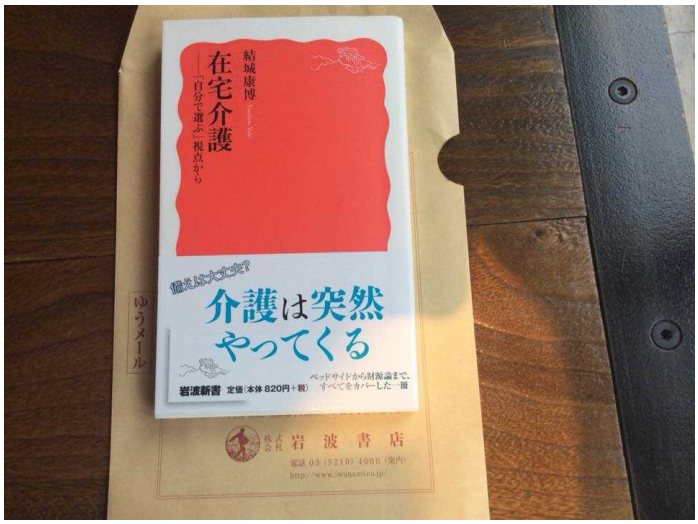
6 月 23 日「介護保険の展望を切り開く」結城康博先生のセミナーです。

6 月 23 日、「介護保険の展望を切り開く」結城康博、淑徳大学教授。
50 才の彼は、東大安田講堂に集まった団塊の世代の医師や関係者宛に、「世代内扶養と介護を受ける側のマナー」を提案した。
https://www.chunichi.co.jp/article/feature/iryou/list/CK2019012202000241.html?fbclid=IwAR1-xtL0ZkJJ3v6ZvfURx8SCPqIfQydEu3WzqL3T6S6TvY59Jh7P7ttswkw
そして、今のままでは地域包括ケアは成功しない。と言い切る。医療福祉介護の専門職連携や地域コミュニティーの再生はずっと言われて来た。僕も地域包括ケアには疑問！？
結城さんは、生活援助のヘルパーが何より大事だが、このままいけば枯渇する。2035 年団塊の世代 85 才の時にケアする人はいないと指摘。また、介護業界 3 年で定着はわずか 30%。理念と人間関係、向かない人を入れて回りを疲れさせない、介護される側のマナーモンピア？モン家族？も強調された。
福祉の人には少ないのだが、都市計画の視点から、コンパクトシティはある意味居住制限、宅配便は平日のみ、コンビニは夜間閉店、規制をして介護の労働力確保、まで提案されていた。
刺激的な勉強会でした。今週は日々勉強、、。